

校長室より

二松学舎大学附属高等学校

校長 鵜飼敦之

## 「二松から飛翔へ」～一期一会～

### 部活動訪問記～校外テニスコートでの練習を訪ねて～

本校には残念ながらテニスコートが校内にありません。そのため、テニス部の生徒たちは放課後、学校から離れた貸コートまで移動し、日々の練習に励んでいます。

先日、その練習の様子を見に足を運びました。九段下駅から新宿線で篠崎駅（終点本八幡の一つ手前の駅）まで約30分、さらに徒歩10分と決して近い距離ではありません。それでも生徒たちは重たいラケットバッグ・ボールを背負い、練習に励んでいました。コート近くまで行くと、男子生徒が私に気づき「あれっ 何で校長が？」と不思議そうでしたが、すぐに笑顔で声を掛けてくれました。コートでは真剣な表情で、チームメイト同士で声を掛け合いながら一球一球に集中する姿がありました。

顧問の車田先生の的確なアドバイスにうなずきながら、互いにプレーを磨く姿には、環境の不便さを感じさせない力強さがあります。練習を終えた生徒に「通うのは大変じゃない？」と聞くと、「少し大変だけど、みんなで行くと楽しいです」と笑顔で答えてくれました。

遠くのコートまで通いながらも前向きに取り組む姿勢こそ、本校生らしい粘り強さと仲間を思う心の表れです。こうした努力の積み重ねが、きっと試合での自信と成果につながることでしょう。

10月に入り、17時を過ぎると日は落ち、ナイター照明の下での練習です。部活動を通じて、環境に左右されない強さと工夫する力を育む生徒たちを、これからも応援していきたいと思います。



### 生徒・教員表彰 ～野球部特待生伝達式～



野球部特待生の伝達式を行いました。健康で野球技術に優れ、二松生として何事にも真摯に取組み、今後の活躍が期待できることが特待生推薦の条件です。

日頃の厳しい練習を積み重ねながらも、仲間への思いやりを忘れない姿勢は、多くの生徒の模範となるものです。

グラウンドでは常にチームを鼓舞し、試合では一打・一球に全力を尽くす。その姿勢を忘れず今後の部活動や学校生活にも生かしてくれることを期待しています。

この表彰は、本人の努力はもちろん、日々支えてくださる先生方やご家族の励ましの賜物でもあります。感謝の気持ちも忘れずにいてください。

### ～教員長期勤続表彰式～



本校の橋岡先生と落合先生が長年にわたり教育現場で誠実に職務を果たしてこられた功績により、学校法人二松学舎から「永年勤続表彰」を受けられました。水戸理事長から表彰状を授与され、感謝と激励の言葉を受けられました。

常に生徒一人ひとりに寄り添い、時に厳しく、時に温かく導いてこられた姿勢は、後輩教員の良き手本でもあります。長きにわたる教育への情熱と責任感に、心から敬意を表します。先生方の地道な努力が学校文化を形づくり、生徒たちの成長を支えていることを、あらためて感じました。

私も授与式に同席させていただき、先生方の姿勢を誇らしく受け止めました。誠におめでとうございます。